

監査役と会計監査人との連携についてのアンケート

2019.11.14

	会社名	A社(日本鑄造)新日本	B社(東京パワーテクノ)新日本	C社(王子ネピア)PwC	D社(兼松コミュニケーションズ)PwC
	統治体制	監査役会設置会社	監査役設置会社	監査役設置会社	監査役設置会社
	監査役数	4名(うち3名社外非常勤)	3名(うち2名常勤、1名社外非常勤)	2名(うち1名社外非常勤)	3名(うち2名社外非常勤)
1	「会計監査人との連携に関する実務指針」を知っていますか。	○	×	○	○
2	〃 を読んだことがありますか。	×	×	×	×
3	〃 を活用していますか。	×	×	×	×
4	会計監査人の監査体制の説明を受け、情報交換を行っていますか。	○	○	○	○
	自由に記載				毎年9月～10月の時期に会計監査人による監査計画概要説明会が実施され、その時に監査体制の説明を受ける。
5	双方の監査計画について情報交換し、確認を行っていますか。	○	○	○	○
	自由に記載	監査役の監査計画のついては特に打ち合わせの場を設けていない	会計監査人の計画のみ		上記説明会において、監査役監査計画を会計監査人に説明し、相互の監査計画、監査項目等について確認をしている。
6	四半期レビューの実施状況の報告を受け意見交換を行っていますか。	○	×	×	○
	自由に記載				レビュー結果に問題が無いことが殆どの為、実態的には形式的な意見交換の様相が強い。
7	期末監査報告時に必要十分な説明を受け、意見交換を行っていますか。	○	△	○	○
	自由に記載		監査状況報告(12月) 監査報告(5月)		上記6同様、形式的な意見交換の様相となっており、深掘した意見交換はあまり出来ていない。
8	その他、何らかの連携への取り組みを行っていますか。	期中監査時の監査現場に一度は顔を出すようにしている。 定例的な懇親会は設けていない。	2事業所の往査に立ち合い	期中・期末監査時可能な限り同席 実地棚卸には必ず同行	会計監査人の現場往査、期末実棚には立ち会うようにしている。(各々1回/年) 懇親会(1回/年程度)での率直な意見交換
9	会計監査人との連携実績				
	①決算途中経過説明	○(3月末に)	×	○(3月末に)	×
	②決算監査報告	○	○	○	○
	③監査計画説明	○	○	○	○
	④四半期レビュー	○(年3回)	×	○(年3回)	○(年3回)
	⑤内部統制監査	○	—	○	○
	⑥実地棚卸立会	○(1月末)	×	○(2月末)	○(3末日)
	⑦経営者とのディスカッション	○(年2回)	○	○(年1回)	○(社長—1回/年、 取締役・執行役員—3回/年)
	⑧子会社監査	○	—	該当なし	○(サブ連結ベースでの分析手続き)
	⑨現金実査	○(年2回)	○	○(年1回)	○(年2回)
10	評価、課題等自由に記載してください。	この7月からチーム主査が交代した。 進捗状況確認中。		会計監査人の評価は定性評価 提携体制は整いつつある	親会社と同一の監査法人の為、会計監査人の評価行為自体が形骸化している。